

私立中学・高校のための AI 活用ガイド



1枚ご案内



キャッチ

学校のAI活用は、"導入"より"整理"から。

校務の属人化と人手不足を、現場の言葉で伴走して解く。 OVERWRITE — 私立中学・高校のためのAIコンサルティング

こんなお悩み、ありませんか

- 通知文・要項・集計・保護者対応に、先生と職員の時間が奪われている
- 「AIを入れたい。でも何から？ 生徒の情報は安全？」が分からない
- ITの専任担当がない／特定の人に業務が依存している（属人化）

→ ツールを選ぶ前に、まず"今の業務"を一枚の地図に。ここから始めるのが一番の近道です。

学校でAIが効く場面（例）



校務・事務



保護者・受験生



入試・募集・広報



教材・授業



データ活用

領域	効くこと
校務・事務	通知/要項/議事録のたたき台、アンケート集計・可視化、一次問い合わせ対応
保護者・受験生	説明会案内・FAQ・メール返信の下書き、多言語対応
入試・募集・広報	学校紹介・SNS・パンフ原稿の素案、要項/配布資料の整備
教材・授業	教材・小テストのたたき台、採点補助（最終判断は先生）

進め方は、小さく確実に



① 整理（業務の棚卸し） → ② 小さく試す（一番効く1業務でPoC・数週間） → ③ 定着（ルール・研修込みで運用）

安全への配慮

生徒の個人情報を入れない設計／クローズド運用も可。「何を入れてよいか」を明文化。判断と責任は人が持つ前提で設計します。

まずは現状整理から

- ・ 5万円のAI活用診断（現状整理+効きどころのご提案） / 無料相談も歓迎
- ・ 要件が固まっていない段階でOK。専門用語抜きで一緒に考えます。

オーバーライト株式会社 | 神戸 | overwrite.jp | 私立高校での導入実績（PM・約1年継続中）



スマホで読み取り → 無料相談へ

overwrite.jp（お問い合わせ・5万円AI活用診断はこちら）